

精神保健福祉士国家試験の在り方に関する検討会（第1回） 議事概要

- 田中構成員を検討会の座長に選任。
- 議事、議事録及び資料は原則非公開とするが、公開しても国家試験の厳正さの保持に影響が生じないと判断できる資料は公開する。また、各回の議事概要を公開する。
- 主な論点
 - 論点1：精神保健福祉士養成課程における教育内容の見直しへの対応について
 - 論点2：国家試験の実施状況を踏まえた検証について
 - 論点3：試験日程等の改善について
- 主な意見
 - ・ 医療、福祉、教育といった幅広い分野でメンタルヘルスに関わるソーシャルワーカーの需要は高まっており、安定的、かつより多くの精神保健福祉士を現場に輩出する必要がある。
 - ・ 国家試験は、ソーシャルワークに関わる分野で就労するスタートラインに立つために必要な知識及び技能を有しているかを問えるよう出題内容や出題形式等を見直すべきであり、より専門的かつ実践的な内容は就労後の実践で習得すべきではないか。
 - ・ 受験者の負担軽減の観点等を踏まえ、試験日程や出題数等を見直すべきではないか。
- ※ 国家試験の在り方について、日本ソーシャルワーク教育学校連盟及び日本精神保健福祉士協会から意見聴取を行った。
- 今後のスケジュール等

- ・ 次回は、社会福祉士国家試験の在り方検討会との合同開催を行う。